

（年間第29主日）シノドス開会宣言教区ミサ 2021年10月17日（桜町教会）

⑤ シノドスの呼びかけは、私たちがそれぞれ 神から与えられた「固有の使命」をもって「神の国」の喜びを広げ その交わりの喜びを共にするため 教会は「旅をしている」といいます。

⑥ シノドスは いくつかの質問（10の質問）を私たちに 送ってきました。

これからの質問は、私たちの意識を第二バチカン公会議の指針へと奮い起こしてくれます。

信徒の方々の参加 を大事にします。同時に社会の中で「弱い立場に置かれた方々」の  
声に耳を傾けることを大切にします。

- ・その国の社会状況 ・歴史環境 ・教会の規模の大きさ ・価値観 ・文化の様相
- ・社会の中の教会の立場の違い ・教会の歴史 ・教会観の違い ・養成 意識

質問 1 一緒に歩んでいる人たち

シンボルの絵（教会と社会で、わたしたちは同じ道を並びながら歩いている。）

質問のねらい

・みなさんは「旅をしている教会」という意識を持っていますか  
聖霊の息吹きによって新たにされ神の心に答えたい

・「旅をしている教会」は どこに向かっていますか  
・どこに向かうかわからない（私の葬式さえしてくれたい）  
・次の世代にいい教会を残したい

① わたしは（わたしたちは）一緒に歩んでいるでしょうか？

- ・教会は共同体ですか？（バラバラになってませんか？）
- ・教会の中心に何があるのだろう ・ 誰がリーダーなのだろう

② わたしは（わたしたちは）誰と歩まなければいけないでしょうか？

- ・ 旅する教会のメンバーは誰ですか
- ・ 社会の人々はこの旅に参加していますか（施設 自助グループ 奉仕団体・・・）

③ 一緒に歩むことを怠っていたり、忘れていたり、見捨てられている人たちはいませんか？

- ・ 近くにいても、私の目に入ってこない方々の存在に気づいていますか？・・・

④ とともに歩むことができていない、その人たちとは誰ですか？・・・（

- ・ なぜともに歩むことができないのでしょうか？

⑤ わたし（わたしたち）は 一緒に歩んでもらっていますか？

一緒に歩んでもらうためにはどうしたらいいと考えますか？

（教会は開かれていますか？・・・）